



ArtemiS SUITE
PRoject

Code 50500

APR 500 主観テスト - SQala Basic

主観テスト - ArtemiS SUITEのSQala Basicは、モジュール式ソフトウェアSQalaの中核です。リスニングテストシナリオを作成し、ローカルセッションとして実行する場合はAPR 500を用います。リスニングスタジオ、分散型セッションの場合は、ASP501及びASP502を用います。

概要

APR 500

主観テスト - SQala Basic

Code 50500

主観テスト - SQala BasicはSQalaのベースであり、最適なリスニングテストシナリオの作成を可能にします。リスニングテストの設定は直感的で、専門知識は必要ありません。その為、このプロジェクトでは、斬新でわかりやすく配置されたページレイアウトが用意されており、シンプルなテストと複雑なテストのいずれも非常に短時間で簡単に作成できます。様々なシナリオや必要に応じてリスニングテストをカスタマイズ、保存、再利用できます。

リスニングテストにSQalaを利用することで、テストの実施と評価にかかる時間と労力を大幅に削減できます。また、製品開発プロセスと並行してリスニングテストを実施することで、業務効率化の可能性がさらに高まります。



主なフィーチャー

リスニングテストを作成、参加者一人ずつテストを実行

- › わかりやすく直感的なユーザーインターフェース
- › 専門知識がなくても複雑なリスニングテストを迅速作成
- › 斬新で機能的なページデザイン
- › カスタム設計オプション
- › 様々なタイプのリスニングテストの実行:
 - › ランキング
 - › 一対比較法
 - › 複数属性比較法
 - › セマンティックディファレンシャル法
 - › カテゴリー判定
 - › 同時カテゴリー判定

リスニングテストシナリオ：

- › SQalaローカルセッション(被験者1名の場合)
- › ASP 501 および ASP 502 は、次の場合に必要：
 - › リスニングスタジオ
 - › 分散セッション(分散型シングルセッション、またはリスニングスタジオ内での複数セッションポイント)

前処理、後処理のタスクと再生の為のソフトウェア及びハードウェアソリューションが利用可能です。

アプリケーション

- › ベンチマーキング
- › ターゲットサウンド定義
- › 製品音の最適化

SQala ソリューション

ローカルセッション

主観テスト

SQALA BASIC (APR 500)

- › リスニングテストの作成
- › ローカルセッションで被験者一人のリスニングテストを実施
- › 複数の被験者でリスニングスタジオや分散型セッションでリスニングテストを実施するには、ASP 501及びASP 502のライセンスが必要です。

リスニングスタジオと分散型セッション

主観テスト

SQALA NET (ASP 501)

- › 複数の被験者でリスニングテスト(個別モードまたはグループモード)を実行
- › 監視と管理の為のSQalaセッション管理
- › SQala Server Managerは、SQala Serverで提供されるリスニングテストを管理及び実行します。
- › SQala サーバーと個々のSQala クライアント(被験者)間の接続の確立

主観テスト

SQALA SERVER (ASP 502)

- › SQalaサーバ
- › SQala Net(ASP 501)リスニングテストを実行するには、ASP 502ライセンスが必要です。

主観テスト - SQALA CLIENT

- › 分散セッションまたはリスニングスタジオでテストを実行するには、各リスニングポイント(PC、タブレット等)にSQala Clientをインストールする必要があります。
- › ライセンスは不要

スタジオ管理

- › リスニングスタジオで HEAD acoustics の再生機器を設定
- › APR 110のライセンスが必要です。



HEAD acoustics その他のソリューション

前処理・後処理の為のツール

- › 解析及びその他のツールを実行する為のプロジェクト
- › APR 010, APR 050, APR 570, APR 220
- › 心理音響及びその他の解析ツール
- › ASP 305, APR 110
- › ASP 101, ASP 102, ASP 103, ASP 104, ASP 001, ASP 002, ASP 004, ASP 006, ASP 007, ASP 201, ASP 202
- › その他の処理ツール
- › APR 200, APR 210, ASP 305

聴感に忠実なバイノーラル再生

- › HEADlab 再生モジュール
- › labP2 (Code 3732)
- › labP2-V1 (Code 3732-V1)
- › labO2-V1 (Code 3731-V1)
- › HEAD acousticsが推奨するヘッドホン
- › スピーカー
- › HPL (Code 2968) 2 x ハイプレジジョンスピーカー
- › HSW I (Code 2950) サブウーファー

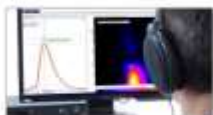
音質指標

- › メトリックプロジェクト (APR 570)



ASX 03 - SQALA 拡張 API (CODE 5093)

- › 新たな SQala テストステップをカスタマイズする為のプログラミングインターフェイス



詳細

主観テスト - SQala Basic

主観テストの作成

完全なリスニングテストをすばやく作成するために、SQala Basicは統一された機能的なページレイアウトを提供します。ユーザーは、希望するテストタイプを組み合わせてカスタマイズできるため、リスニングテストを段階的に直感的に組み立てることができます。簡単で使いやすいインターフェースにより、専門知識は必要ありません。これにより、複数のテストステップで構成される大規模なリスニングテストでも、迅速かつ安全に作成することができます。

テストステップ

複数の事前定義されたテストステップが用意されている為、ユーザーは数回クリックするだけでカスタマイズされたリスニングテストを作成できます。

- ▶ 情報
 - ▶ このテストステップに含まれるのは被験者へのインストラクションやその他の情報です。
- ▶ サウンドデモ
 - ▶ サウンドデモは、極端な音や音の全体範囲のデモンストレーションに利用できます。
- ▶ リスニングテストの種類
 - ▶ ランキング
 - ▶ 一対比較法
 - ▶ 複数属性比較法
 - ▶ セマンティックディファレンシャル法
 - ▶ カテゴリー判定
 - ▶ 同時カテゴリー判定
- ▶ インタビュー
 - ▶ このテストステップは、リスニングテストの実行中に被験者が情報提供する為、または被験者に情報提供を求める為に利用できます。

プログラミングインターフェース SQala 拡張 API (ASX 03) を利用すると、ユーザーはリスニングテストを個々のテストステップで拡張し、シームレスに織り込むことができます。



最適なレイアウトを選択する為にユーザーは様々なページからステップタイプを選択し、さらにカスタマイズできます。



評価属性をすばやく設定するために、様々なオプションが利用可能です。マニュアル編集も可能です。



テストステップ

プレビュー

プレビューには、被験者が見るのとまったく同じように、リスニングテストの現在の状態が常に表示されます。これは、ページの範囲とレイアウトの両方に適用されます。

ローカルモードでの実行

ユーザーは、完成した SQala リスニング テストをローカルで実行できます。ユーザーは複数の被験者で連続してリスニングテストを実行することもできます。

新しいカスタマイズされたテスト ステップの作成 – SQala 拡張 API (ASX 03)

ArtemiS SUITE のプログラミング・インターフェース ASX 03 により、ユーザーは独自のテスト・ステップを設計し、それらを SQala リスニング・テストに含めることができます。新しいユーザー固有のテスト手順の実装はシームレスで、SQala の設計に合うようにカスタマイズされます。全体的な印象に一貫性を持たせるために、新しいテストステップと標準テストステップに同じコントロールオプションが利用可能です。

ASX 03 を利用した新しいテストステップのプログラミングは非常に簡単です。ユーザーは、様々な例、実用的なモデルアプリケーション、及びプログラミングリファレンスを含む詳細なドキュメントが利用できます。

主観テストの独自テストデザインは、ローカルモードでは利用可能ですが、現在、リスニングスタジオや分散型セッションでは利用できません。

音質指標の為のSQalaテスト結果の評価

SQala Project からの XML 結果ファイルは、メトリックプロジェクト (APR 570 が必要) に直接含めることができます。ユーザーは、SQala Project の評価に、カテゴリー判定、セマンティックディファレンス、同時カテゴリー判定のいずれをメトリック計算に用いるか選択できます。

SQala と Metric Project の密接な連携により、時間とコストのかかるリスニングテストの結果と、測定技術で同定した再現性のある解析結果とをマッピングします。



プレビュー：リスニングテストの例



ローカルモードでのサウンドデモ



インタビュー



テストステップ例：ランキング

ArtemiS SUITEのその他のソリューション

必要に応じて、ArtemiS SUITEは、シグナルの生成、編集、統合、及び解析、統計処理、フィルタリング、数値出力、信号カット等を実行する為の複数のツール(APR及びASP)を提供します。

- › 前処理
 - › HDFツール(APR 200)による信号のソート、連結、統合
 - › 人工信号やその他の信号を生成する為の信号発生プロジェクト(APR 210)
 - › ...
- › 後処理
 - › 心理音響分析(ASP 101、ASP 102、ASP 103、ASP 104)
 - › その他の分析(ASP 001、ASP 002、ASP 004、ASP 006、ASP 007、ASP 201、ASP 202)
 - › ...
- › ツールを実行するためのArtemiS SUITEプロジェクト
 - › Pool Project (APR 010)
 - › Automation Project (APR 050)
 - › Standardized Test Project (APR 220)
 - › Metric Project (APR 570)



例:同時カテゴリー判定



例えば、再生モジュールlabP2を用いることで、オリジナルの音のスペクトルや音場の立体空間を正確に再現することができます。labP2はカスケード接続が可能で、リスニングスタジオでの利用にも理想的なデバイスです。

HEAD acousticsの聴感に忠実なバイノーラル再生デバイス

ヘッドアコースティクスが推奨するヘッドホンと最適な再生システムを組み合わせ、正しいイコライゼーションを行うことで、聴感に忠実な再生と、信頼性の高い音評価と最適化が可能になります。これを実現する為、HEAD acousticsはSQalaに最適な複数の再生モジュールとイコライジングされたヘッドフォンを提供しています。

APR 000 Framework (Code 50000)が必要です。



お問い合わせ

〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134
横浜ビジネスパークウエストタワー 8F

電話： 045-340-2236
Eメール： headjapan@head-acoustics.com
ウェブサイト： www.head-acoustics.com